

■ 就職試験関係と資格試験関係問題集について

…後援会の補助金で購入された図書…

本学図書館は後援会より毎年100万円の図書購入費をいただいています。図書館ではこの補助金の意義を尊重して、在学中に大多数の学生の皆さんが利用されると思われる就職関係問題集と資格試験関係問題集の購入に充当しています。



第二閲覧室にある就職関係問題集と資格試験関係問題集の一部

今年度も既に最新の問題集が購入されて第二閲覧室に配架されています。また、図書館はホームページ上で「データベース就職試験・資格試験問題集」を作って公開していますので、この資料を十分に活用され、就職試験や資格認定試験の場で、得られた知識を活かしていただければ、後援会からのご厚意におこたえできるものと思います。

■ 濱崎史朗元教授からの寄付金でフランスの有名百科事典を購入

フランス語学科元教授の濱崎史朗先生が、本年3月の退職時に学校法人京都外国語大学へ寄付された30万円を森田嘉一理事長から、「濱崎先生のご厚情を所蔵資料に反映させるように」というお言葉と共に図書館へいただきました。本学図書館はこの寄付金を、今年の7月刊行予定で、フランス語学科やフランス語を勉強する学生の皆さんによく使われると思われる有名な『Encyclopaedia Universalis』（最新版全28巻）の購入に充当させていただくことにしております。

濱崎先生に対し、厚くお礼を申し上げますと共に、図書館利用者の皆様に謹んでご報告をさせていただきます。

司書雑感

忘れられた作家へのスポットライト

「ここは外国語大学の図書館、まさかこれほど多くの日本文学者の作品があるうとは！」こんな思いで今、新しい主題別書誌データベース「日本文学」を作っています。

作家ごとに、生い立ちや代表的な作品などの紹介文を記していく仕事なのですが、江戸時代の終わりから明治時代を経て大正時代に名を馳せた小説家の作品が数多く所蔵されています。しかも、学生の皆さんが高等学校までに習った有名な作家だけではありません。もう、忘れ去られてしまったのでしょうか。教科書にも書かれていない人物の作品が多くあります。

現代社会で知られていない作家だからこそ、一人ひとりの紹介文が必要なのです。その文章を手がかりにして、学生の皆さんがこの多くある文学作品を「読んでみようかな」という気持ちになるのではないのでしょうか。

一昔前の検索手段であったカード目録では、このような紹介文を付けることは出来ませんでした。また、作家だけを纏めた目録はなく、検索対象となる人物を事前に人名辞典で作家と確認してから、カード目録で所蔵を調べなければなりません。

本学図書館が先行して作ってきた外国文学の書誌データベースでは、作家ごとに紹介文が付けられます。作家名をマウスでクリックするだけで、所蔵している作品が画面上に並ぶようになっており、この「日本文学」も同じ形に仕上がります。少し、自画自賛気味ですが、この種のデータベースは他大学図書館のホームページで見かけることがありません。

こんなことから、私たちは忘れられていた文壇の人たちにスポットライトを当てているような気持ちになり、大きな使命感を背負って仕事をしているように思っています。しかし、このデータベースの完成までには、まだまだ時間がかかります。それほど、本学所蔵の日本文学は作家の数が多いのです。

奥 正敬（司書）